

**Windom2017 医学部受験のことならウインダムにお任せください！**

## Windomの解答速報 東北医科薬科大学 化学解答

### I 【解答】

問1 ①

問2 ⑦

問3 ⑧

問4 ②

問5 ③

問6 ②

問8 ⑦

問9 ④

### II

問10 ⑤

問11 ③

問12 ⑦

問13 ⑧

問14 ⑤

問15 ⑨

### III

問16 ③

問17 ⑨

問18 ②

問19 ③

問20 ⑤

問21 ⑥

問22 ⑦

### IV

問23 ⑤

問24 ⑥

問25 ⑩

問26 ⑧

問27 ④

問28 ⑤

### 講評

大問4題、60分(2科目120分)の時間では大変厳しい。解答は選択肢8~10個の中から1つ選ぶ完全マーク28題。

I Ti, Pd, Ptに関する知識を中心とした小問9題。

そのうち1題は計算。光触媒やチーグラール・ナッタ触媒など、知らない受験生も多かったのではないかと。

II  $\text{H}_2 + \text{Br}_2 \rightarrow 2\text{HBr}$ の反応速度に関する小問6題。

知識は触媒に関する1題で、残りはすべて計算。

問14は、自然対数のアレニウスの式を常用対数で計算する物なので、選択肢に正解がない。計算レベルは、標準より少し難しい程度。

III 芳香族化合物の分離操作に関連した構造決定の小問7題。計算は1題。知識もp-アミノ安息香酸についてのものなど難しい。尚、問22の解熱鎮痛作用については、選択肢から、今は消化器系への副作用から実用されていないサリチル酸を選択した。構造決定も時間がかかった受験生が多かったことであろう。

IV グルコースのヒドロキシ基のメチル化の問題。設問も見かけることの多いものであるが、やはり時間的に厳しいものである。

全体として、要求される知識もあまり見ない細かいもので、計算も時間を考えると質、量とも大変であったろう。受験生全体の平均は、5割には到底届かないレベルである。入試は順位で決まるので、腹を決め、自分に解ける問題を1つでも解くという姿勢の受験生が合格を勝ち取ることができるであろう。